

港湾振興便り



2014. 5
第85号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ —親しまれる港に光の演出—
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

●釧路港に今年初のクルーズ船が入港しました！
(釧路市 港湾空港振興課)

●豪華客船「にっぽん丸」が酒田港に寄港しました。
(酒田市 商工観光部 商工港湾課)

●災害時の船舶燃料等の調達に関する協定を締結
(関東地方整備局)

●鹿児島港臨港道路（黎明みなと大橋）開通式典が開催されました
(九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所)

3 お知らせ

*:

1 ポートエッセイ —親しまれる港に光の演出—
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

:~

大型連休が終わった。概ね天候にも恵まれ、各地とも家族連れでにぎわったようだ。私が市長を務める新潟市は6月までJRのデスティネーションキャンペーンの期間でもあり、集客に努めている。

連休に取り組んだのが「みなと新潟春フェスタ～光の饗宴～」のイベントだ。本市の代表的な観光スポットは日本一の大河・信濃川とそこに架かる萬代橋だ。国の重要文化財に指定されて10年になることも重なって、今回は萬代橋と新潟西港がある信濃川河口部を光で飾ることにした。

萬代橋は以前は夏と冬バージョンで色が変わるようにライトアップされていたが、重要文化財の指定を機に、誕生時の状態に近づけるため灯りは橋脚灯だけになっている。今回は欄干にLED灯をつけ、灯りが川面にも映える新たな魅力を演出した。

そこから1キロほど下流には開港5港の面影をたたえる運上所（税関）の建物がある。これも重要文化財だ。今回は運上所をライトアップし、それに隣接する市歴史博物館（愛称みなとぴあ）の建物をスクリーン替わりにプロジェクションマッピング（PM）を投影した。東京駅が改装されたときに実施したPMの光の演出は大きな話題を呼んだが、混雑の余り中止を余儀なくされたことをご記憶の方も多いと思う。

私は一昨年、フランスのシャトル市を訪れた際、世界遺産である大聖堂の建物が踊り出すようなPMを見て大変に感動した。新潟に戻って、その技術では日本トップクラスのクリエイターが市内にすることを知り、昨年「ラ・フォル・ジュルネ新潟『熱狂の日』音楽祭」など文化イベントで活用を始めた。今回は新潟のダンスカンパニー「Noism2」の踊りとコラボレーションも初めて行い大人気だった。

これに先立ち、光の演出の第一人者・石井幹子さんから新潟にお出でいただき、港を舞台にした光の演出についてご教示いただいた。欧米では港湾を光で飾り、市民の憩いの場となっている事例が多いことに改めて気づかされた。新潟西港についても様々な助言をたまわった。新潟もそうだが、日本の港湾はもっと市民に親んでもらう工夫が必要だ。今回のイベントをステップに新潟西港で光の演出をさらに進化させたい。

*:

2 トピック

*:

●釧路港に今年初のクルーズ船が入港しました！

（釧路市 港湾空港振興課）

4月19日（土）に今年初の外国クルーズ船『フォーレンドム』（61,214ト）が釧路港に入港しました。フォーレンドムは15日に横浜を出港し、30日にカナダのバンクーバーへ到着する行程で、ドイツ人やカナダ人ら約1,300人の乗客の多くが、釧路港の周辺施設や商店街を訪れ、賑わいを見せました。

着岸箇所に近い釧路フッシャーマンズワーフ M00 では、折り紙体験、アイヌ文様の切り絵作成、着物の着付け体験などの交流イベントを実施し、なかには着物姿のまま幣舞橋での写真撮影を敢行する方も。

午後5時過ぎには、沈みつつある夕日とサックスの演奏の中で、多くの市民がクルーズ船を見送りました。

今年は昨年実績の約3倍増となる25隻のクルーズ船が釧路港に寄港する予定となっており、寄港するクルーズ船情報について市内商業者、観光関係者を対象とした説明会も開催しました。クルーズ船寄港をビジネスチャンスにつなげていただければと考えております。



釧路港に入港したクルーズ船『フォーレンダム』



アイヌ文様の切り絵作成



お見送りの様子

●豪華客船「にっぽん丸」が酒田港に寄港しました。

(酒田市 商工観光部 商工港湾課)

5月2日(金)豪華客船にっぽん丸が酒田港に寄港しました。

同船は、『ゴールデンウィーク日本一周クルーズ』として、4月25日に東京を出港後、神戸、種子島、金沢などを経て、酒田港に360人の乗客を乗せて入港しました。

入港時には和太鼓の演奏に合わせ、酒田大獅子・小獅子2体がふ頭内を練り歩き、にっぽん丸を歓迎しました。

歓迎式典では、丸山酒田市副市長、番留にっぽん丸船長の挨拶のほか、酒田舞娘による花束贈呈が行われ、今回の寄港に花を添えるとともに、乗客の皆さんに、かつて北前船の寄港地として栄えた湊町酒田の文化を感じていただきました。

乗客の皆さんは、酒田市内や鶴岡市内の観光のほか、出羽三山神社や鳥海山を訪れ、乗船前には庄内地方の特産品の購入や、振る舞いのイカ焼きを召し上がるなど庄内を満喫されたようです。

出港セレモニーでは、山形県立酒田光陵高校吹奏楽部による演奏と、訪れた多くの市民による紙テープでのお見送りが行われる中、にっぽん丸は次の寄港地となる江差港へ向けて出港しました。

酒田市では、地域経済の活性化や酒田港のイメージアップを図ることを目的に、今後もさらなる客船誘致に取り組んで参ります。



にっぽん丸入港と獅子練り歩き



酒田港に停泊するにっぽん丸



出港セレモニーの様子



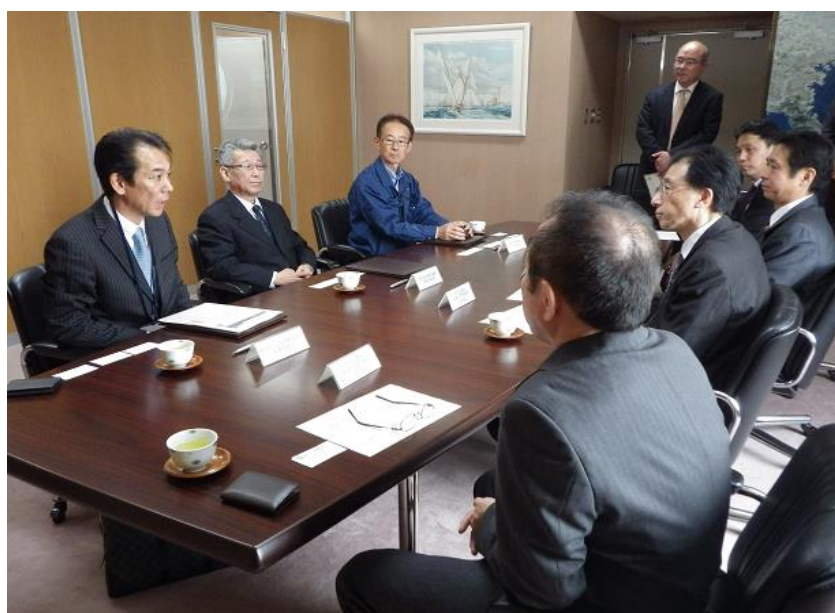
にっぽん丸出港！

●災害時の船舶燃料等の調達に関する協定を締結

(関東地方整備局)

関東地方整備局と横浜マリン石油(株)、横浜菱油(株)、関東タス(株)の各社は3月26日に「災害時の応急対策に係る船舶燃料等の調達に関する協定」を締結しました。首都直下地震などが発生した際には、港湾施設の応急復旧や航路啓開のために多数の船舶が活動することになり、また、川崎港東扇島の東京湾臨海部基幹的広域防災拠点が緊急支援物資輸送活動を行う際にも多数の船舶などが活動することが想定されています。今回の協定締結はこれらに不可欠な燃料供給についての協力を目的としたものであり、関東地方整備局は、各種燃料の海上輸送を得意とする各社との協定締結により広域的な協力が得られると期待しております。

締結式には関東地方整備局から池上副局長、松永港湾空港部長らが出席、横浜マリン石油(株)からは井上代表取締役、横浜菱油(株)からは八木下統括本部長、関東タス(株)からは谷口取締役が出席しました。締結式で池上副局長は「今回の協定締結を快諾して頂き感謝します。首都直下地震や南海トラフ地震などの災害発生時には燃料の確保が最大のポイント、そのために必要な事項をあらかじめ決めさせて頂きたい」と挨拶。関東地方整備局は今後各社と発災時に必要となる情報の交換・共有に努めることとしており、速やかな災害対応に向けて新たな災害時協定の締結や、継続的な防災訓練の実施などに努めていくこととします。



締結式の様子

●鹿児島港臨港道路（黎明みなと大橋）開通式典が開催されました

(九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所)

鹿児島港の谷山港区から中央港区の港湾貨物輸送を改善するため整備をすすめていた鹿児島港臨港道路（黎明みなと大橋）の開通式典が3月29日（土）に開催されました。

式典では、伊藤鹿児島県知事、森鹿児島市長、大野九州地方整備局副局長の式辞に続き、来賓祝辞、事業概要の説明が行われた後、地元幼稚園児も参加してテープカットが行われ、式典終了後、関係者による渡り初めが行われました。

今回の開通により、背後幹線道路を含めた交通の円滑化や周辺道路との接続が改善され、交通渋滞が緩和されることにより走行時間の短縮が図られ、港湾関係貨物をはじめとする物流の効率化や、企業活動、人流・商業活動の活性化、CO₂、NO_X等の排出量の削減に寄与します。



開通式典



渡り初め



黎明みなと大橋

3 お知らせ

- ◇ 第66回東京みなと祭り

開催期間 : 5月24日(土) ~ 5月25日(日)

<http://www.tokyoport.or.jp/minato66/index.html>

- ◇ 第33回横浜開港祭

開催期間 : 5月31日(土) ~ 6月2日(月)

<http://www.kaikosai.com/>

- ◇ 第3回深日港活性化イベント 深日港フェスティバル

開催日時 : 6月29日(日) 11:00 ~ 15:00

開催場所 : 深日港(大阪府岬町)

http://www.town.misaki.osaka.jp/kigyoyuuchi/kig_page/kig_page_061.html

